



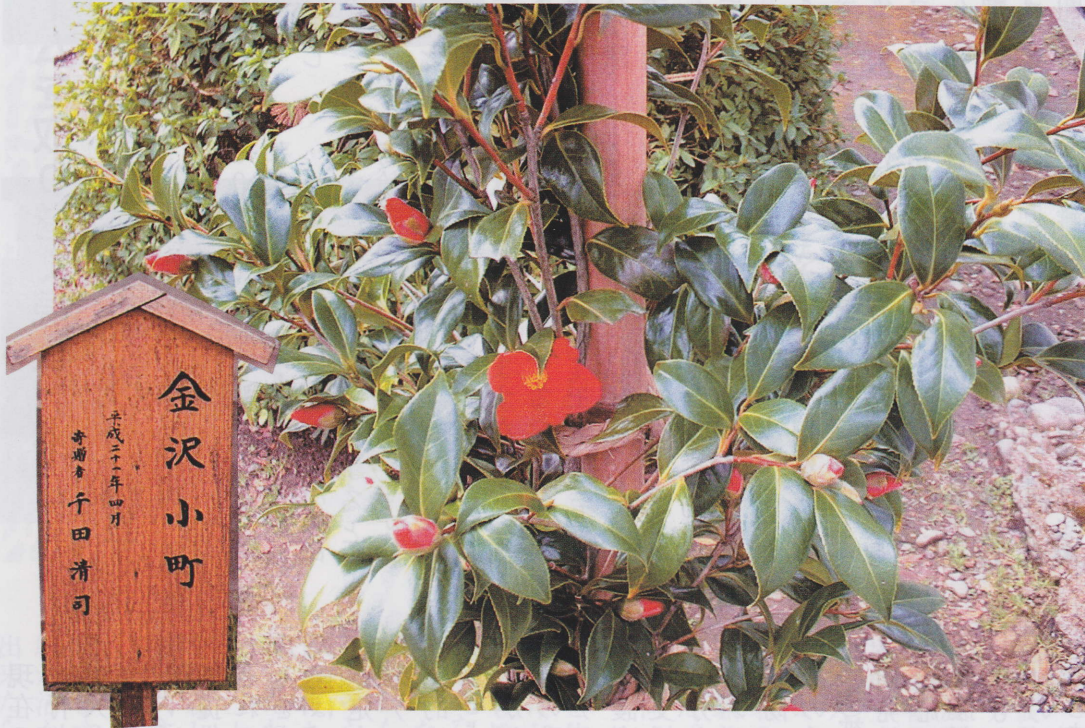
陽風園だより

2010年3月
第57号

発行 社会福祉法人陽風園 金沢市三口新町1丁目8番1号 ☎ (076) 263-7101

陽風語録

人 様々、様々な友がいてくれてよかった
様々な友がいてくれたからこそ
豊かな働きが産み出されたのだ!



金沢小町

平成二十年四月
寺増者 千田清司

送る言葉

理事長 奥

清

三月は 別れの月であると思うと心は重い……。
お世話になり、よく勤めていただいた仲間を送らなければならぬと思うと、万感胸をよぎる事が多く、落日、故人（古くからの友）の情けを感じるのは我のみではなからう……と思う。

ともに、陽風園に勤める事ができた絆を大事にして友を送り、友を迎えたい。そして、元気で新たな道を歩み続けられる事を祈りたい。

見る事博ければ迷わず 聴くこと聴ければ惑わず という古言がある。人間一生力を尽くすことが大事である。一生懸命 根限り努力した時には 心爽やかで 自分で自分を労りたくなることを体験されたことと思う。今日一日 本当によく働いた……よく努められた……そう思う日は、体が疲れていても気分は和らぐのである。力及ばずはあつたにしても、及ばずながら精一杯努めてくれたことが尊いのである。ありがとう……ありがとう……喜んでい。事の成否も然る事ながら、その成否を越えて大事なことは 何時でも、何処でも心を尽して 精一杯取り組んでくれたことである。

第二の人生も、高い志を持って励もう。励む事多ければ日もまた短い。でも、憂いを抱くと眠れず、夜もまた長い。志士の日、短きことを念じて友を送り出したい。元気でなあ……。ありがとう！ありがとう！
みなさんと出会えて 幸福だった！
みなさんと出会えて 果報者だった！

特別養護老人ホームを取り巻く現状

第二万陽苑施設長 末松 謙二

昨年の9月に自民党政権から民主党政権に代わり「コンパクトから人へ」との考えの中、福祉はどう変わっていくのでしょうか。

先日の研修会での話ですが、国は歴史的に老人問題の対応として、1963年に老人福祉法の制定により老人の介護ニーズの対応をはじめ、養護老人ホーム・特別養護老人ホーム等を作り直した。その後、介護ニーズが顕在化してくると1973年に老人医療費の無料化を行った。ここで介護ニーズは、医療ニーズの一部としてとらえられ、老人病院が多く造られるようになった。その後老人保健法の制定により、老人医療費の一定額負担が導入され、社会的入院や寝たきり老人の社会的問題が起こった。そこで次に1989年に高齢者保健福祉推進十カ年戦略(ゴールドプラン)を作成しこの問題に対処することになった。1994年には医療・福祉の問題をより進めるための新ゴールドプランが策定されている。しかし、医療費・少子高齢化の問題等から、医療・福祉・高齢者の機能を分

化し連携を強めるとの事で、2000年に介護保険法が施行されました。

一方、日本人口問題研究所(出生中位・死亡中位)によると、高齢者の人口は2045年が約384万人で割合は38・2パーセントとなり、この年を最高に人口は減少しますが、その後も総人口も減少するため、割合は増え続け40パーセントを超えると推計されています。また、認知症高齢者(厚生労働省)に關しても2005年169万人、2025年323万人と20年間約2倍に増えると推計されており、死亡人口は2005年は108万人、2030年には166万人になり約1・5倍になると推計されています。

このような状況の中で特別養護老人ホーム等の施設整備を行うことで、すべてを対処することは難しく、より地域福祉を中心に進めなければならなくなることを考えられています。死亡場所に關しても、現在のような病院ばかりでなく、施設や在宅での看取りも行われなければならなくなるように思われます。

現在の介護保険法は地域を中心に行われています。介護保険が導入される前は、利用者が老人ホームへの入所・市町村の保険サービスの提供・食事サービスの提供等を受けた時は、それぞれの担当の行政機関で申し込みをする必要があったが、導入後は、要介護者が市町村の介護認定を受けると介護支援専門員のケアプランの作成を受け、一元的にサービスを受ける事ができるようになった。

しかし、2005年の介護保険法の改正では、一元化されていたサービスが、要介護度により介護事業者が行うものと地域包括支援センターが行うサービスに分かれました。地域包括支援センターが行う業務は、①介護予防のマネジメント②介護保険外のサービスの含む総合的な相談③被保険者に対する虐待防止・早期発見④支援困難なケースへの対応などの介護支援専門員への支援があると言われていました。どうも介護保険で対応できない福祉の部分が含まれているように感じます。

その他、今年度は「介護従事者等の人材確保のための介護従事者の処遇改善に關する法律」の成立に伴い4月から介護報酬が改正され、当施設でも4月から「日常生活継続支援加算」・「看

護体制加算」が付き、10月からは見直しによりさらに「夜勤職員配置加算」が増えました。また、10月からは新たに「介護職員処遇改善交付金」が支給されるなど安定した事業運営が行えるように配慮されています。しかし、職員はなかなか増えず、安定した経営にはつながらないようです。

また、2009年12月4日付けの政府規制改革会議の資料には「特別養護老人ホームは行政措置対象施設としての機能をほぼ失っているものの、依然として補助金・免税や参入規制等によって優遇措置を受け続けており、実質的に同様なサービスを提供している有料老人ホームとの競争条件が同一ではない。株式会社や社会福祉法人等の多様な事業者が同一条件下で自由な競争を行えるよう、介護事業者は原則として課税対象とする。」とあります。その反面で厚生労働省は、2009年12月22日に発表した特別養護老人ホームの入所待機者は約42・1万人で介護基盤の緊急整備費等として3294億円の予算を計上しました。

このように制度・人材・政策等時に応じて変化しており、いろいろな問題がある中で、状況を的確に把握し、最良な方向に慎重かつ大胆に進まなければならないと思います。

園 だ よ り

金沢市消防音楽隊

「クリスマスコンサート」

十二月二十五日、金沢市消防音楽隊のクリスマスコンサートが行われ、隊員十五人が多彩な曲目を披露して下さいました。

舞台は「クリスマスメドレー」で幕を開け、「愛のままで」や「川の流れるように」と華麗な音色を響かせました。クラリネットやフルート・トランペットなど八種類の楽器の説明と実演があり、「大きな栗の木の下で」が演奏されると利用者の方々が、懐かしそうに歌詞を口ずさんでおいでました。隊員の皆様に素敵な演奏のプレゼントをして頂き、本当にありがとうございました。



上野保育園

「施設訪問」

一月二十日、小立野にある上野保育園の四〜五歳児約三十人が訪れ、講堂で元気に歌や踊りを披露してくれました。園児たちはステージに登場すると防火活動の歌など二曲を歌い、テレビでお馴染みの「石川サンバ」を踊って、入所者の方々が楽しませてくれました。客席から歌や踊りに合わせて手拍子が起こり、終始にぎやかな雰囲気会場を包みました。

最後に園児たちから折り鶴のプレゼントもあり、「いつまでも元気でいてくださいね」と声を合わせて挨拶する姿に大きな拍手が送られていました。



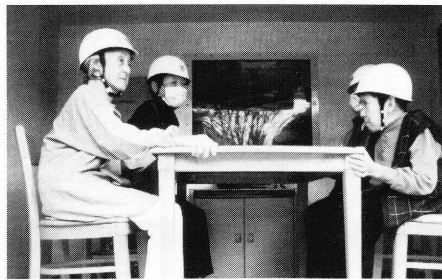
施設だより

向陽苑

震災講座

十一月二十四日、震災講座として地震発生時に適切な対応が出来るように、地震体験車を使って実際の震度1〜5の各段階の揺れを入所者の方に体験していただきました。

四人一組で行い、約三十名の方が体験されました。感想を伺ってみると、「震度5を体験したけど、なんも怖くなかったわ」「思ったより揺れなかったわ」「面白かった」という心強い方や、「私ら大きい地震にあつたらんから良い経験になったわ」とのことでした。



翌二十五日には地震防災ビデオを視聴した後、非常食を実際に作り、試食していただきました。まさかの事態にならないように願いますが、そうなった時、この体験が活かされ、慌てず騒がず行動出来たらいいなと思います。

万陽苑

年忘れ会

十二月九日に年忘れ会が行われました。

お楽しみはいろいろありますが、まずは作りたての握りやちらし寿司ではないでしょうか。新鮮なネタを職人さんが握り、盛りつけ、そのままテーブルへと運ばれます。熱々のおでんと一緒においしく召し上がっていただきました。また、舞台では利用者の皆さん自慢のものが披露され、音楽クラブの皆さんの日頃の練習成果や利用者の方々の十八番が次々と発表され、職員之余興では爆笑をいただきました。そして、今年の舞台の目玉は琴修会田上教室の皆さんによる大正琴の演奏ボランティアです。軽妙な司会とすばらしい琴の音色、懐かしい唄の数々に利用者の皆さんも共に歌い、笑い、会場が一体となり大いに盛り上がりました。

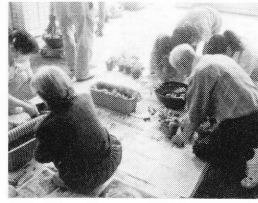
食べて、歌って、笑って…皆さんに去りゆく年のひと時を楽しんでいただけましたようです。



施設だより

木越デイサービスセンター

園芸療法



四年前から二階のウッドデッキを利用して花や野菜を育てています。種まき・手入れ・収穫・収穫物の利用を通して楽しさや自信の回復・コミュニケーションが生まれることが大きな効果です。必要な物品はスタッフが用意させて頂いておりませんが、あとは利用者さん中心で和気あいと進行していきます。利用者さんに色々な失敗があっても慌てず「失敗感を残さない」ことを基本としております。終わってみれば笑顔とプランター内で咲き誇るそれぞれの自信作が並んでいます。

また、昨年春には町会高年部から色とりどりのプランターをいただき、センター玄関前を飾っております。今後も地域に密着したデイサービスを目指し安心して生活できる福祉サービス作りを行います。



第二万陽苑

初釜

一月六日、食堂にて初釜を行いました。

初釜とは、茶道の稽古始めにあたる日を指して言い、茶人は、元日の朝に初めて汲む若水で釜を開き、新年のあいさつが済んだころ、客を招いてその年初めのお茶を振る舞うことだそうです。



初釜と申しましても、正式な茶事を行うわけではありませんが、利用者の方々を招き、気持ちよく楽しい一時を過ごしていただくため、職員一同いろいろと準備を進め、女性職員二名が着物を着て雰囲気づくりを大切にしました。

箏曲を流し、毛氈を敷き、花を生け、屏風を立て、セッティングよし。いよいよ初釜の始まりです。食堂に利用者のみなさんが入られると、お茶の深い香りが漂ってきて、屏風

を通して穏やかな陽光が差し込む室内に箏曲の音が響き、厳粛な気持ちの中で職員がお点前を披露しました。利用者の方々の楽しみ方も様々で、職員のいつもと違う着物姿に見惚れていたたり、お抹茶や上生菓子に舌鼓を打っておられました。なごやかな雰囲気の中で、着物姿の職員と一緒に茶会席をバックに希望者一人ずつ写真撮影も行いました。

新しい年を迎え、利用者の方々は、共に集うお抹茶の時間を楽しんで頂けた様子でした。

また、一月二十日に行われた新年会は、福引きと喫茶を企画いたしました。今後も利用者の方々に楽しんでいただけるような行事、地域の皆さんと交流できるような企画を提案していきたいと思えます。



陽風園日誌

11月

吉村笑子歌謡ボランティア (陽風園)

報恩講 (陽風園・第二)

三陽祭 (三陽)

フェスタハビリ (ハビリ)

文化作品展示祭 (木越デイ)

紅葉ドライブ (第二)

ランチドライブ (第二)

卓上献立 (万陽・第二)

秋の旅 (万陽)

希望者旅行 (ハビリ)

昼食バイキング (木越)

作って食べよう会 (第三デイ)

生活給食懇談会 (第三)

地域清掃ボランティア

全体レクリエーション (三陽)

崎浦・内川・つつじが丘・菊川・

大桑団地健康づくり教室

(地域福祉)

施設だより

第三万陽苑

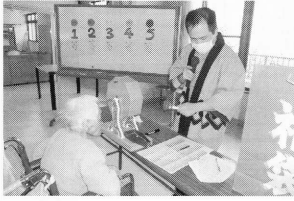
新年 会

一月六日、一年の最初の行事となる「新年会」が行われました。

午前は「福引き」を行い、商品は、一等から五等までをそれぞれ二〜四種類ずつの中から選んでいただけるよう用意しました。ガラポンから出る玉の色を確認する利用者さんの真剣な顔が、「〇等です」の職員の声で、笑顔に変わる時の表情がとても印象的でした。福引きのドキドキする気持ち、幾つになっても変わらないものだと感じました。

午後は、初釜を行いました。ボランティアの方が抹茶をたてて下さり、職員が着物を着て、お運び役をしました。抹茶と和菓子を楽しんだ後は、職員手作りのすごろくと福笑いのお正月のゲームをしました。

一日を通して、新春の雰囲気を楽しんでいただけと思いません。今年も、利用者の方々に季節を届けられる行事を企画していきたいと思えます。



三陽ホーム

選択クラブ

三陽ホームでは、クラブ活動を行っており、固定クラブと選択クラブに分かれています。固定クラブはそれぞれが目標をもって長い期間（半年〜一年）をかけて取り組んでいます。選択クラブはその都度選ぶので、季節や気分によって好きなクラブに参加することができます。

カルタクラブは一番人気で、いくつもの種類のカルタを用意して、グループに分かれて行ったり、利用者が読み手を務めたりしています。市販の物は比較的小さい物が多いので、利用者の方が使いやすいよう札を大きくすることや、文言を自分達で考えるなどオリジナルのカルタを作成出来るように検討しています。

料理クラブでは、栄養士や調理員の指導を受



けながら料理した後、皆で試食（これが目当ての方も見受けられますが…）をします。これまでに、彩りのよい「ずんだ」を使った黄緑色のおはぎや、紫いものとさつまいもの2色さんとんを作りました。どれも見た目はとても鮮やかで、参加された皆さんは美味しいと口をそろえ、次は何を作る？と楽しみにされている様子でした。

カメラクラブでは、デジカメを使って他のクラブ活動を中心に撮影しました。フィルムで撮る写真とは異なり、撮ったその場ですぐ見る事ができ、撮り直しも簡単に出来る便利さに皆さん驚かれ感心されていました。自分なりに背景やモデルを見つけて、自分の気に入った作品を作りあげる事が出来た様子です。完成した作品は、「三陽祭」で展示し、ご家族や近隣の皆様に見て頂きました。

その他、お茶や麻雀・将棋なども実施しており、今度はどうなクラブがあるのだろうか、何に参加しようかと皆さん楽しみにしておいでます。これからも明るく活気ある生活づくりに努めていきたいと思えます。

12月

理事会・評議員会

金沢市長歳末見舞

押野ときわ会大正琴ボランティア

石川県知事歳末慰問

京あすかクリスマスコンサート

金沢市消防音楽隊

クリスマスコンサート (陽風園)

年忘れ会 (各施設)

希望者旅行 (ハビリ)

生活給食懇談会 (三陽)

表現会 (みずき)

ゆず湯 (各施設)

良い年を迎えよう会 (第三デイ)

餅つき・繭玉作り (みずき)

クリスマス喫茶 (万陽・第二)

白山会演芸ボランティア

喫茶・クリスマスバイキング (木越デイ)

クリスマス会 (みずき)

菊川・内川・十一屋・崎浦・

つつじが丘・大桑団地

健康づくり教室 (地域福祉)

年末保育 (みずき)

終い湯 (各施設)

施設だより

ハビリポート若葉

おせちの寄贈

昨年十二月三十日におせち料理の寄贈がありました。

寄贈式には利用者六名が代表として参加しました。並んだ「金茶寮」の八十折のおせちにみなさん驚いた様子で、「一箱ずつおせちの入った箱が手渡されると、どんな料理が入っているのだろう」と期待も膨らみました。中を開けると、お正月にふさわしい色鮮やか料理の数々に「おいしそうやわあ」と目を輝かせてすっかり見入っていました。

頂いたおせちは、十二月三十一日と一月一日に分けて出食しました。例年とは違った料理に「おいしかった。また食べたいわ」と利用者も大変喜んでいました。

今回寄贈をして頂いた「北陸保健衛生研究所」は、社会貢献活動の一環として福祉施設へおせち料理を寄附されており、陽風園では初めてで、利用者にとってうれしいお正月となったこととでしょう。

温かい思いやりが込められた立派な品に心からお礼申し上げます。



あけぼの作業所

読書ボランティア

昨年の八月から元養護学校の教諭をされていた方に、クラブの時間を利用して『絵本の読み聞かせ』ボランティアとして、訪問を受けています。

初めて来所された時、以前養護学校で勉強を教えてもらった利用者がいて、とても懐かしそうにその当時の思い出を話されていました。



最初に読んで頂いたのは、「ゆうひのしずく」という絵本でした。一人ぼっちのキリンとアリが、お互いの視界に入る今までに見たことのない景色を見て感動し、心を通わせるお話でした。短い文章の中に、双方の悲喜こももが伝わり、皆が感動していました。

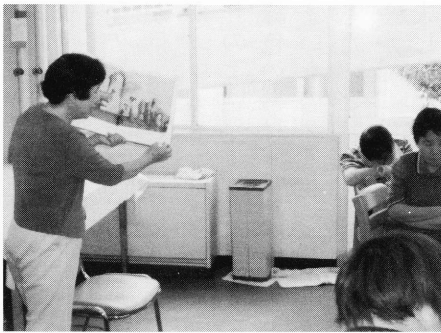
利用者の反応は、読み手の顔

をずっと見て真剣に聞いている様子や、目をつむりしつかり声を聞こうと耳をダンボにしたり、中には話の内容の理解が難しい人達もいます。

しかし、全員が最後まで静かに聞いていました。

そこには、読み手の独特の心地良い声、絶妙な間、途中で絵を見せてイメージしやすいようにすることで、聞き手に伝わるのだと感じました。

これまで三回の来所で、「花さき山」「しまふくろうのみずうみ」「火」などの絵本を読み聞かせてもらいました。絵本の内容も、優しい絵も、魅力的なものばかりで、今度はどんな絵本を読んでもくれるのだろうと皆楽しみに待っています。



1月

年頭のあいさつ

仕事始めの式

上野保育園施設訪問

初湯

初釜

新年会

保護者総会

小中高生とのふれあい

生活発表会

新春書初め大会

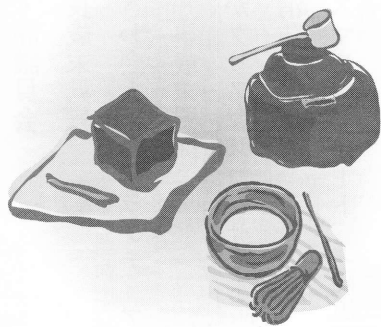
昼食バイキング (木越デイ)

ゲーム大会 (万陽デイ)

菊川・十一屋・崎浦・つつじが丘・

内川・大桑団地健康づくり教室

(地域福祉)



施設だより

みずき保育園

魚を知ろう

一月末、給食材料納入業者さんのご協力で魚と触れ合う機会を得ました。

朝早くから、一階オープンスペースにはブルーシートが敷かれ、着々と準備が進みます。様々な種類の魚が運び込まれ、二階にいた子ども達も目がキラキラ！「あ、タコや！」「イカも！」皆で二階オープンスペースの窓ガラスにおでこをくっつけて準備の様子を見守ります。

準備が整うと、各クラス順に、ブリの解体を見せて頂きました。子ども達の目の前で魚がみるみるうちに三枚おろしに切り分けられます。ブリの頭を切り落としたときに「かわいそう」とつぶやく子どももいました。その言葉を聞いた魚屋さんは「そうだね。ちよっぴりかわいそうな気もするね。でも大丈夫。皆はこのお魚からたくさん栄養をもらって、元気いっぱいになれるんです！だからお魚もみんなが元気になってくれたらとても嬉しいと思うよ」とお話してくれました。子ども達も「そっか！」と納得。そのあとも、魚はどうやって皆の所へやってくるのか、魚

から出来ている食べ物はどうなのがあるのかなど、いろいろな話を聞き、子ども達の質問にも答えて頂きました。子ども達は「へえ」「おさかな博士や」と真剣に聞き入っていました。

それからは、子ども達がお待ちかねの魚と触れ合える時間です。いつもはスーパードでパックに入っている魚を見ることがほとんどですが、今日は好きなだけ触ることが出来ます。「なんかザラザラしとるね」「ちよっと変な匂いする」「魚って重たいのもあるね」：など様々な言葉が飛び交い、恐る恐る持ち上げる子、豪快に両手でつかむ子などとても楽しそうでした。

そして、その日の給食のおかずはブリ大根。いつも魚のメニューの日には「骨ある？」「頭も食べるん？」となかなか食べない子ども、「お魚屋さん作ってくれたやつや！」とみんなペロリと完食していました。

自分の目で見て考えて実際に触れているなことを感じる。そこから子ども達は学び、成長していきます。今回の様な貴重な経験を一つでも多く子ども達に体験させてあげたいと感じました。

入園者の変動状況 (11月~1月)

施設名	入園者数 (2月1日現在)	入所	退所
向陽苑	236	7	5
万陽苑	182	30	33
第二万陽苑	150	27	25
第三万陽苑	149	16	12
三陽ホーム	105	0	0
ハビリポート若葉	203	0	2
グループホーム	14	0	1
あけぼの作業所	42	2	0
みずき保育園	176	0	0
診療所	10	17	24
合計	1,267	99	102

在宅サービス利用状況 (11月~1月)

施設名	事業	延人数
万陽苑	ショートステイ	455
	デイサービス	768
	ホームヘルプサービス	290
	配食サービス	233
	移送入浴サービス	10
	居宅介護支援事業	478
お年寄り地域福祉支援センター	予防プラン	1,073
	介護相談	694
木越	デイサービス	750
	居宅介護支援事業	109
第二万陽苑	ショートステイ	729
	ホームヘルプサービス	319
	居宅介護支援事業	207
第三万陽苑	ショートステイ	747
	デイサービス	578
	居宅介護支援事業	218
ハビリポート若葉	ショートステイ	38
	日中一時支援	4

感謝録

11月～1月

(順不同・敬称略)

ボランティア

金沢ギター四重奏団

(金沢市)

押野地区ときわ会

(金沢市)

新畑ミュージック企画

(金沢市)

金沢市消防音楽隊

(金沢市)

陽だまりグループ

(金沢市)

小西グループ

(白山市)

カトレアの会

(金沢市)

第二万陽苑家族会

(金沢市)

葉月の会

(金沢市)

合歓の会

(金沢市)

三色すみれの会

(金沢市)

PL金沢南教会

(金沢市)

末日聖徒イエスキリスト教会

(金沢市)

上野保育園

(金沢市)

吉村 笑子 (金沢市)

山下 吉美 (松本市)

牛山 正博 (松本市)

西方早百合 (松本市)

針野 衛 (金沢市)

安岡 龍男 (金沢市)

新畑 光文 (金沢市) 勝尾外美子 (金沢市)
 村尾 和子 (金沢市) 高窪千寿子 (金沢市)
 朝倉 薫 (金沢市) 南 恒太 (金沢市)
 富原 悟史 (金沢市) 古本 季奈 (金沢市)
 向井 梓 (金沢市)

寄附物品の部

押野地区ときわ会 (金沢市)
 美川婦人会 (白山市)
 JA石川県女性組織協議会 (金沢市)
 世界文藝社東京本社 (東京都)
 株サンライン (金沢市)
 (財)北陸保健衛生研究所 (金沢市)
 つる幸 (金沢市)
 金沢市企業局 (金沢市)
 フードバンクいしかわ (金沢市)
 野田中学校校下婦人会連絡協議会 (金沢市)
 西野 宏 (金沢市) 山内 昇 (能美市)
 西田 将機 (白山市) 土田 智子 (金沢市)

寄附金の部

菊川社会福祉協議会 (金沢市)
 河上 進 (金沢市) 松島 勝弘 (金沢市)
 久保 昇 (野々市町) 石毛 義博 (金沢市)
 土田 智子 (金沢市) 金井 君子 (金沢市)
 小原 君代 (金沢市) 鈴木 延子 (東京都)
 末田佐智子 (金沢市) 山田ヨシ子 (野々市町)
 岩谷 正夫 (能登町) 小野 陽子 (金沢市)
 浅田 ()

その他匿名 三十名

ご厚意ありがとうございました。